

## 医療機関の新規開設（開設者変更含む）や増床にかかる説明資料

小倉 寛則

## 1 概要（令和4年1月時点）

病院名	（仮）小倉産婦人科
所在地	岐阜県岐阜市長良葵町1丁目2番3
開設者名	小倉 寛則
管理者名	小倉 寛則
時期	2024年6月（開業予定）

## 2 機能別病床数・病床利用率（令和4年1月時点）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床等	合計	病床利用率
現在						0	
変更後		5				5	

## 3 新たに整備される病床の整備計画と将来の病床数の必要量との関係性

- ・分娩の取り扱いをする産婦人科を標榜し有床診療所を整備するため。
- ・岐阜圏域における地域医療構想【第2章 岐阜圏域における地域医療構想】より、分娩取扱医療機関は減少していることから、産科・産婦人科医を確保するなど、安心してお産ができる体制の充実・維持が求められているとあるように、周産期医療を提供するために病床の確保が必要であると考えている。  
岐阜圏域の急性期の必要病床は2,757床で、令和2年時点と比較して、326床過剰となっているが、分娩を行う病床として必要であると考えている。
- ・分娩を行わなくなった医療機関が岐阜圏域にあり、その役割を開業予定の当院が担いたい。
- ・コロナ禍において問題となっている里帰り出産のような望んだ地域での分娩ができない状況や、妊婦の受入れができない医療提供体制に対応すべく病床の確保をしたい。

## 4 新たに整備される病床が担う予定の病床の機能と、構想区域の必要病床数との関係性

## 【産科症例】

初期流産や人工妊娠中絶、正常妊娠・正常分娩（帝王切開を含む）症例を扱う予定。  
異常妊娠やハイリスク妊娠、入院を要する妊婦は2次、3次病院へ紹介予定。

## 【婦人科症例】

検診や良性疾患の経過観察を行い、外陰や子宮頸部疾患の小手術を取り扱う予定。  
全身麻酔下手術を要する症例や進行がんの症例は高次病院へ紹介予定。

## 【必要病床数に関して】

正常分娩は、現時点で月間最大で15件を検討。

分娩が重なることもある点や緊急入院（上記に記載の通り産科症例においては入院が必要な初期流産や人工妊娠中絶、帝王切開等）の症例に対応し、婦人科症例の入院を伴う小手術にも対応することから5床のベッドが必要かと考えている。

岐阜圏域は、急性病床数が過剰となっているが、岐阜県地域医療構想において、安心してお産ができる体制の充実・維持が求められているとあるように、周産期医療を提供するために病床の確保が必要であると考えている。

## 5 雇用計画や設備整備計画の妥当性

## 【雇用計画】

診療所（増床）計画書より

雇用計画に関して、運営に必要な職員を募集し開業までに雇用予定。

通常の外来時、休日・祝日、夜勤時を鑑み配置予定。

## 【設備整備計画】

設備計画に関して、医療機関専門の設計士、産婦人科に特化した医療機器卸会社等と検討し必要な設備、医療機器等の導入を検討中。

## 6 その他